



委員長

尾元 武

### 第1視察地

地域交流サロン

「ばあちゃんち」

人口約3万9000人植木町の子育て支援センターである。新興住宅地を一步はいると農村地域に典型的な田の字型の古民家が1軒。約100㎡の敷地に広い庭があり5反部の畑が周囲に広がり、縁側で一人暮らしのおばあちゃんがひなたぼっこ。そんな環境のサロンである。

子育てで色々悩む人々の応援団に、二つの保育所が、老人クラブ・民生委員・食生活改善推進委員と連携して設立。

#### 「地域ぐるみの取り組み」

子育ては「暮らし」そのものである

- 1 人生の先輩たちと関係を築き、子育ての知恵を学ぶ
- 2 テレビを消して、家族との会話をつくる
- 3 地域の人たちも気軽に集い、相談したり子育ての昔の知恵を出し合ったりする
- 4 「早寝・早起き・朝ごはん」の合い言葉を実践する
- 5 男(父親)の仕事をも男同士で「何をしたらよいか」を探し実行する

二つの保育所の園長先生が主導となり子育て支援事業として取り組み、年間の活動助成金をもとに、野菜・米・大豆作り等行ないそれらを材料に漬物・味噌づくりまたクッキーやパン・うどんなど生産しイベントで販売し資金としている。

#### 「感想」

月に1回程度のサロン・子育て・高齢者の話し相手・荒廃田畑の再生・味噌づくり・旬

実施日 平成22年11月4日～5日

視察地 ・熊本県熊本市 地域交流サロン 「ばあちゃんち」

・福岡県福岡市 次郎丸中学校内 「子どもプラザ」

周防大島町においては少子・高齢化が顕著に進んでいる中、地域の発展のためにも、子育て支援はより一層強化することが重要であると考え、さらなる充実を目的に先進地の行政視察研修を実施した。



地域交流サロン「ばあちゃんち」

の野菜料理・昔ながらの遊び等々を教え合い、子供・老人・色々な職業の人等「人とひとのつながりあえる地域をつくろう」と真剣に考えさせられた。

### 第2視察地

「子どもプラザ」

事業の目的

中学校の空き教室を利用し、核家族化・都市化・少子化の進行の中で、地域で孤立しがちな乳幼児親子を支援し、子育てし易い環境づくりの推進を図る。

機能及び事業

乳幼児に遊び場を提供(気軽に利用できる場所を常設・交流の場・情報提供の場)

地域の子育て活動の支援・子育てサロン・子育てサークルの支援

「組織的取り組み」

中学校との連携の効果として、多くの生徒が廊下越しながらも笑顔でふれ合い、不登校傾向にある生徒にとっては、乳幼児子育ての場が精神的癒しになる。また思春期の生徒へのプラス効果として、自分の過去を振り返り、現在や未来について考えを深めるきっかけになる。